

別総会, 1982, 11, 東京.

病 理 学 (2)

教 授 小 泉 富美朝
助 教 授 深 瀬 真 之
助 手 若 木 邦 彦
教 務 員 倉 茂 洋 一

◆ 原 著

1) Igarashi R., Morohashi M., Koizumi F., Nitto H., Inomata N. and Sato Y.: Immuno-fluorescence studies of cutaneous blood vessels of 16 patients with systemic lupus erythematosus. *Acta Derm. Venereol. (Stockholm)* **61**: 219-223, 1981.

2) 村沢 章, 東條 猛, 羽生忠正, 牧野正晴, 鈴木昌也, 小野多知夫, 梅谷芳雄, 小泉富美朝: 扁桃摘出により奏効した sterno-kosto-klavikuläre Hyperostose の 4 例—とくに病巣感染との関連について—。整形外科 **33**: 427-433, 1982.

3) 小泉富美朝, 深瀬真之, 若木邦彦: SLE 60 剖検例における冠状動脈病変の臨床病理学的検討。臨床免疫 **14**: 406-418, 1982.

4) 若木邦彦: DNA 投与によるループス腎炎。新潟医学会誌 **96**: 352-356, 1982.

5) 上山武史, 富川正樹, 小泉富美朝: バージャー病早期病態の検討。厚生省特定疾患系統的血管病変に関する調査研究班 1981年度研究報告書 173-177, 1982.

6) 若木邦彦, 深瀬真之, 谷内宗臣, 小泉富美朝: 全身性に PN の癍痕期病変を認めた一剖検例。厚生省特定疾患系統的血管病変に関する調査研究班 1981年度研究報告書 299-303, 1982.

7) 小泉富美朝, 深瀬真之: プレドニン投与実験における血管および筋肉病変。医学のあゆみ **123**: M-53~M-61, 1982.

8) 藤田敏雄, 伊藤 博, 田近貞克, 穂苅市郎, 榎淵統一, 桐山誠一, 麓 耕平, 阿部要一, 藤巻雅夫, 深瀬真之: 肝硬変症による門脈圧亢進症と胃十二指腸潰瘍に更に肝外発育性肝細胞癌を合併した症例の治療経験。肝臓 **28**: 934-941, 1982.

9) 唐木芳昭, 永瀬敏明, 穂苅市郎, 長谷川 詮, 田沢賢次, 伊藤 博, 藤巻雅夫, 小泉富美朝: 放射線誘発直腸癌の 1 例および外国 74 症例報告例の統計的観察。癌の臨床 **28**: 1309-1319, 1982.

◆ その 他

1) 小泉富美朝: 病巣感染よりみた扁桃。感染症学雑誌 **56**: 556-557, 1982. (シンポジウム抄録)

2) 小泉富美朝: 病理学的立場からみた習慣性扁桃炎。日耳鼻 **85**: 1398-1400, 1982. (パネルディスカッション抄録)

◆ 学会報告

1) 若木邦彦: DNA 投与によるループス腎炎 (シンポジウム)。第 374 回新潟医学会, 1982, 1, 新潟.

2) 深瀬真之, 若木邦彦, 三輪淳夫, 小泉富美朝, 安積宏明, 辻 政彦: 膵内胆管癌術後に発生したアルコール硝子体を伴う脂肪性肝硬変の 1 剖検例。第 71 回日本病理学会総会, 1982, 4, 東京.

3) 北川正信, 三輪淳夫, 若木邦彦: トロトラスト肝癌の 3 剖検例。第 71 回日本病理学会総会, 1982, 4, 東京.

4) 小泉富美朝: 病巣感染よりみた扁桃 (シンポジウム)。第 56 回日本感染症学会総会, 1982, 4, 東京.

5) 横沢隆子, 大浦彦吉, 中川 眸, 近藤昌子, 深瀬真之, 小泉富美朝: 代謝変動について (アデニン投与実験における生化学的ならびに病理学的研究)。第 36 回日本栄養食糧学会総会, 1982, 5, 東京.

6) 深瀬真之, 小泉富美朝, 横沢隆子, 大浦彦吉: 腎臓の病理組織学的変化 (アデニン投与実験における生化学的ならびに病理学的研究)。第 36 回日本栄養食糧学会総会, 1982, 5, 東京.

7) 小泉富美朝: 病理学的立場からみた習慣性扁桃炎 (パネルディスカッション)。第 83 回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1982, 5, 盛岡.

8) 小泉富美朝: 悪性関節リウマチの診断と治療について。富山県特定疾患講演会, 1982, 7, 富山.

9) 小泉富美朝: 悪性関節リウマチの診断と副腎皮質ホルモンの血管および筋肉への影響。第 11 回北陸リウマチ研究会, 1982, 9, 富山.

10) 高田 昉, 深瀬真之, 小泉富美朝: いわゆる osteoporomalacia の 1 剖検例。第 36 回北陸医学会総会, 1982, 9, 富山.

11) 小泉富美朝, 渡辺行雄, 小林英人: 習慣性扁桃炎の病理組織学的検討。第 22 回日本扁桃研究会総会, 1982, 11, 東京.

12) 窪田芳樹, 島田一彦, 市田隆文, 紺田健彦, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博, 深瀬真之, 小泉富美朝: 肝硬変に合併した悪性リンパ腫の 1 例。第 117 回日本内科学会北陸地方会, 1982, 11, 金沢.

13) 斎藤清二, 中野 護, 樋口清博, 青山圭一,

窪田芳樹, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木 博, 若木邦彦, 小泉富美朝: 急速な経過を呈した多発性神経炎と内分泌異常を伴う Plasma cell dyscrasia (高月病) の 1 例. 日本血液学会昭和57年度東海・北陸合同地方会, 1982, 11, 金沢.

14) 小泉富美朝: 扁桃と免疫. 日本医師会医学講座, 1982, 11, 富山.

病 理 学(寄生虫学)

助 教 授 上 村 清
教 務 員 丸 山 由 紀 子

◆ 原 著

1) 上村 清, 渡辺 護: 富山県のある水田における蚊幼虫分布様相の一検討. 衛生動物 **33**: 51-54, 1982.

2) 渡辺 護, 上村 清: コガタアカイエカの最近の増加傾向について. 富山県衛生研究所年報(昭和56年度): 33-36, 1982.

3) Kamimura K., Okazawa T., Inaoka T., Suzuki T. and J. O. Ochoa A.: Field trials of temephos formulae for the control of blackfly larvae in Guatemala. Japan J. T. M. H. **10**: 173, 1982.

◆ 総 説

1) 丸山由紀子, 荻田善一: 家系資料による遺伝子分析—遺伝子座間の連鎖の証明, 浸透率の計算法, 遺伝子頻度の推定法, 突然変異率の推定法—. 代謝 **19**: 50-61, 1982.

◆ その 他

1) 丸山由紀子, 上村 清: 有機リン剤抵抗性チカイエカのエステラーゼザイモグラム. 衛生動物 **33**: 172, 1982.

2) 上村 清, 丸山由紀子, 渡辺 護: 蚊発生消長に及ぼす稲作管理の影響について. 衛生動物 **33**: 172, 1982.

3) 丸山由紀子, 上村 清, 安富和男: 薄層寒天電気泳動法によるチカイエカ・エステラーゼアイソザイムの解析. 衛生動物 **33**: 270, 1982.

4) 上村 清, 児玉博英: 立山のライチョウに寄生のコクシジウムについて. 寄生虫学雑誌, **31**: 8, 1982.

5) 吉村裕之, 近藤力王至, 大西義博, 赤尾信明, 室井早苗, 上村 清, 山田 修, 芦原百合子, 大川静子: 北陸地方における小児蟻虫症の疫学と駆虫成績. 寄生虫学雑誌 **31**: 23, 1982.

6) 上村 清, 岡沢孝雄, 稲岡 徹, 鈴木 猛, J. O. Ochoa A.: グアテマラにおけるブユ幼虫駆除のためのアベイト剤型に関する野外実験. 日本熱帯医学会雑誌 **10**: 109, 1982.

7) 上村 清: 北陸における衛生動物の推移. 北陸と公衆衛生 **16**: 38, 1982.

8) Maruyama Y., Kamimura K. and Yasutomi K.: Analysis of esterase isozymes in *Culex pipiens molestus* by thin layer agar gel electrophoresis. AKAIEKA NEWSLETTER **7**: 6, 1982.

9) 丸山由紀子: からだの365日—才能はつくるもの, 若ハゲは遺伝のおそれあり—. 「健康歳時記」水野 肇監修, 314, 492, 三宝出版, 1982.

10) 常楽武男, 上村 清, 水野 透, 中川秀幸, 大野豊, 瀬川哲夫, 田中忠次, 渡辺 護, 山中 浩: 特別展富山に生きる昆虫たち. 1-16, 富山市科学文化センター, 1982.

◆ 学会報告

1) 上村 清: 農業慣行の変化と日本脳炎発生減少との関係. 日本学術会議植物防疫研究連絡委員会主催シンポジウム「衛生害虫と農薬との相互関係」, 1982, 1, 東京.

2) 丸山由紀子, 上村 清, 安富和男: 薄層寒天電気泳動法によるチカイエカ・エステラーゼアイソザイムの解析. 第34回日本衛生動物学会大会, 1982, 6, 帯広.

3) Maruyama Y., and Kamimura K.: Comparative studies on esterase isozymes in organophosphate-resistant mosquitoes, *Culex pipiens*. The 4th International Congress on Isozymes, 1982, 6, Austin (Texas).

4) 上村 清: 疫学調査のための蚊生態学. 第37回日本衛生動物学会西日本支部大会パネルディスカッション「蚊とウィルス学の方法・手技」, 1982, 10, 神戸.

細 菌 学 ・ 免 疫 学

教 授 小 西 健 一
助 教 授 山 岸 高 由
助 手 桜 井 信 也
助 手 坂 本 憲 市
助 手 林 君 枝
文 部 技 官 井 上 裕 美 子

◆ 原 著